がんばろう！東北

記者発表資料

令和元年 9月 6日
東 北 地 方 整 備 局

山形県沖GPS波浪計の係留索（チェーン）摩耗による緊急引き上げについて

東北地方整備局が山形県酒田市沖合約１９kmの海上に設置している「山形県沖ＧＰＳ波浪計」について、水中カメラによる係留索調査を実施した結果、立上部の係留索（チェーン）の摩耗が確認されました。

この先、冬季風浪等により係留索の破断が想定され、その際に流失の危険性が懸念されることから、令和元年9月に「山形県沖ＧＰＳ波浪計」の緊急引き上げを行います。このため、波浪観測が一時停止となります。

今後、東北地方整備局としては、摩耗原因の対策を講じ、早期復旧に努めて参ります。

【GPS波浪計】

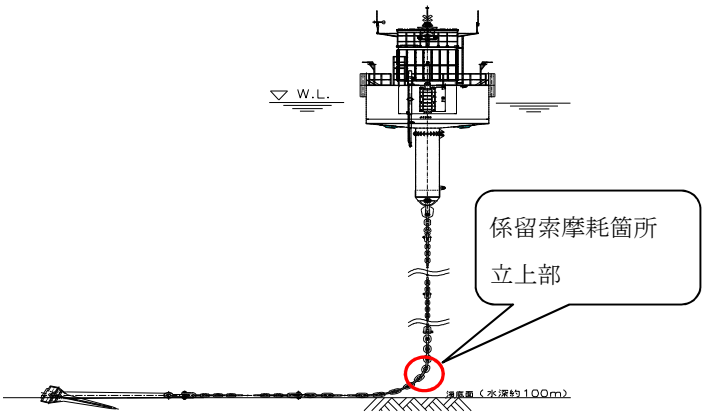
・ＧＰＳ波浪計とは、港湾整備に必要な沖合波浪を観測する目的で設置したもので、観測データについては、全国港湾波浪情報網（ナウファスＨＰ）※1で公表しています。

・また、地震発生時には、津波観測も可能であることから、気象庁に観測データを提供しており、気象庁の津波情報にも利用されています。

※１：全国港湾波浪情報網（ナウファスＨＰ）http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/
（国土交通省港湾局が運営する我が国沿岸の波浪、潮位等の観測網のホームページ）



山形県沖GPS波浪計



設置図

【発表記者】宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、酒田記者クラブ

【問合せ先】国土交通省　東北地方整備局　港湾空港部
電話０２２（７１６）０００４　海洋環境・技術課　課長 佐々木（ささき） 均（ひとし）、課長補佐 永野（ながの） 亮（あきら）